



## しっち ところ 湿地はどんな 所 にできるの

### しっち ち 湿地とぬま地のちがい

しっち ち ところ  
湿地は、いつも土地がたくさん水をふくみ、一部は水がかぶっているような、じめじめした所です。湿地には、真水にひたっている所と、塩水にひたっている所があります。

しっち ち ところ おも すこ  
湿地とぬま地は、同じような所と思われていますが、少しちがいがあります。

しっち のはら ひろ ひら かぜとお ばしょ  
ふつう、湿地は野原のように、広く開けた風通しのよい場所で、スゲやガマのような、水につかってもじょうぶな植物で、おおわれています。

ち みず おお しめ ところ しっけ おお もり き  
ぬま地は、ぬまや水たまりの多い湿った所です。ふつう、湿気の多い森で、いろいろな木がしげっています。

いちぶ ち ところどころしっち ところ ち しっち  
しかし、一部のぬま地には、所々湿地のような所もあるし、ぬま地をふくむ湿地もあるので、湿地とぬま地を、はっきり区別することはできません。

### げん さんかくす はんらん原や三角州などによくできる

しっち ち みず わる ひく とち み げん かわ  
湿地やぬま地は、水はけの悪い低い土地に見られます。はんらん原(川のはんらんによつてできた土地)や、どろが多い三角州には、湿地がよく見られます。

かわ  
川がはんらんするときには、たくさんのどろをふくんだ水が、堤防などをこえておしよせ、水が引いた後に、どろが積もります。また、三角州は、川の水が運んできた、土砂などが積ってできた土地です。

しめ おお ところ しっち  
このように、湿ったどろが多い所に、湿地ができます。(監修・国司 真)

